

解禁日 平成21年12月18日

- 記者発表資料 -

平成21年12月17日  
日本下水道事業団

第35回下水道技術検定(第2種、第3種)及び第23回下水道管理  
技術認定試験(管路施設)の合格者発表について

- 1 日本下水道事業団は、本年11月に全国11都市で実施した第35回下水道技術検定のうち第2種及び第3種並びに第23回下水道管理技術認定試験の合格者を12月18日に発表する。  
発表の方法は、同日、日本下水道事業団技術開発研修本部(埼玉県戸田市下笹目5141)の庁舎内に合格者の氏名及び受験番号を掲示するとともに、日本下水道事業団のホームページに掲載し、合格者本人に書面で通知する。  
なお、第1種技術検定の合格発表については、平成22年2月5日(金)に行う予定である。  
(<http://www.jswa.go.jp>)
- 2 第2種、第3種技術検定の合格者の状況は、次のとおりである。  
第2種の受検者は1,104人、合格者は212人であり、合格率は19.2%となっている。同じく第3種の受検者は5,567人、合格者は1,429人、合格率は25.7%となっている。(別紙1参照)

合格者の内訳(別紙2参照)

区分別に職業別の構成比をみると、第2種は建設業が24.1%と最も多く、次に公務員、設計業が21.2%となっている。第3種は維持管理業が61.4%と最も多く、次に公務員が9.2%となっている。

区分別に年代別の構成比をみると、第2種は30歳代が45.3%と最も多く、次に40歳代20.8%となっている。第3種も30歳代が36.5%と最も多く、次に20歳代が26.2%となっている。

区分別に学歴別の構成比をみると、第2種は大学卒業以上の者が57.1%と最も多く、次に高校卒業者が28.8%となっている。第3種は高校卒業者が42.5%と最も多く、次に大学卒業以上の者が42.1%となっている。

第2種、第3種における性別の合格者数は、第2種は男性204人、女性8人、第3種は男性1,386人、女性43人であった。

- 3 下水道管理技術認定試験（管路施設）の合格者の状況は、次のとおりである。  
受験者数は、1,952人、合格者は700人であり、合格率は35.9%となっている。  
（別紙1参照）

合格者の内訳（別紙3参照）

職業別の構成比をみると、維持管理業が59.7%と最も多く、次に設計・建設業が13.4%となっている。

年代別にみると、30歳代が41.3%と最も多く、次に40歳代27.6%、20歳代17.4%、50歳代12.6%となっている。

学歴別にみると、高校卒業者が47.3%と最も多く、次に大学卒業以上の者38.1%、短大・高専卒業者9.6%となっている。

性別の合格者数は男性681人、女性19人であった。

- 4 下水道技術検定（第2種、第3種）、下水道管理技術認定試験（管路施設）における択一式問題の正答及び合格基準点は別紙4、5に記載のとおりである。

- 5 下水道技術検定合格者は、一定の実務経験を経て、下水道法第22条に定める有資格者となる。  
下水道管理技術認定試験（管路施設）の合格者は、管路施設の維持管理技術について、一定水準以上の技術力を有していることが認定される。  
なお、「下水道処理施設維持管理業者登録規程」（昭和62年建設省告示）により登録を受けようとする維持管理業者は、第3種技術検定に合格し、一定の実務経験を有する者を登録を受けようとする営業所ごとに置くこととされている。

連絡先

日本下水道事業団技術開発研修本部  
管理課長 大峰孝美  
電話 048-421-2691

## (平成21年度)第35回下水道技術検定・第23回管理技術認定試験合格者数等一覧

平成21年12月18日

日本下水道事業団

試験地	第 2 種					第 3 種				
	申込者数	受検者数	受検率	合格者数	合格率	申込者数	受検者数	受検率	合格者数	合格率
札幌	36	26	72.2	5	19.2	321	295	91.9	71	24.1
仙台	148	111	75.0	14	12.6	483	446	92.3	101	22.6
東京	225	176	78.2	34	19.3	1,490	1,311	88.0	372	28.4
新潟	36	31	86.1	10	32.3	254	221	87.0	39	17.6
名古屋	213	164	77.0	34	20.7	750	673	89.7	231	34.3
大阪	183	157	85.8	49	31.2	1,316	1,192	90.6	304	25.5
広島	45	40	88.9	16	40.0	333	297	89.2	67	22.6
高松	163	123	75.5	16	13.0	323	293	90.7	70	23.9
福岡	182	145	79.7	26	17.9	696	649	93.2	146	22.5
鹿児島	123	107	87.0	6	5.6	133	123	92.5	24	19.5
那覇	27	24	88.9	2	8.3	84	67	79.8	4	6.0
計	1,381	1,104	79.9	212	19.2	6,183	5,567	90.0	1,429	25.7
	(1,572)	(1,250)	(79.5)	(293)	(23.4)	(5,800)	(5,171)	(89.2)	(1,481)	(28.6)

試験地	管路施設				
	申込者数	受験者数	受験率	合格者数	合格率
札幌	175	155	88.6	44	28.4
仙台	161	145	90.1	49	33.8
東京	567	529	93.3	193	36.5
新潟	114	104	91.2	33	31.7
名古屋	308	280	90.9	99	35.4
大阪	391	359	91.8	151	42.1
広島	67	62	92.5	29	46.8
高松	73	65	89.0	22	33.8
福岡	206	193	93.7	61	31.6
鹿児島	47	44	93.6	14	31.8
那覇	17	16	94.1	5	31.3
計	2,126	1,952	91.8	700	35.9
	(1,914)	(1,694)	(88.5)	(672)	(39.7)

注 ( )内は前年度の実績である。

下水道技術検定 2、3種 )合格者の推移 (過去3年)

1. 合格率 (区分別)

実施	年度	第2種	第3種
33回	19年	24.0%	27.5%
34回	20年	23.4%	28.6%
35回	21年	19.2%	25.7%

2. 職業別構成比 (区分別)

(第2種)

実施	年度	公務員	設計業	維持管理業	建設業	その他	計
33回	19年	17.7%	25.2%	8.6%	30.0%	18.5%	100.0%
34回	20年	20.1%	28.0%	15.0%	18.4%	18.5%	100.0%
35回	21年	21.2%	21.2%	20.3%	24.1%	13.2%	100.0%

(第3種)

実施	年度	公務員	設計業	維持管理業	建設業	その他	計
33回	19年	9.2%	1.6%	68.2%	3.3%	17.7%	100.0%
34回	20年	10.1%	1.0%	66.8%	3.4%	18.7%	100.0%
35回	21年	9.2%	1.2%	61.4%	4.7%	23.5%	100.0%

3. 年代別構成比

(第2種)

実施	年度	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
33回	19年	0.3%	14.5%	39.1%	21.2%	22.0%	2.9%	100.0%
34回	20年	0.3%	17.4%	39.2%	25.3%	14.3%	3.5%	100.0%
35回	21年	0.0%	15.1%	45.3%	20.8%	14.2%	4.6%	100.0%

(第3種)

実施	年度	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
33回	19年	0.1%	24.7%	38.3%	20.6%	14.0%	2.3%	100.0%
34回	20年	0.3%	25.8%	38.8%	20.2%	11.9%	3.0%	100.0%
35回	21年	0.2%	26.2%	36.5%	21.1%	12.9%	3.1%	100.0%

4. 学歴別構成比

(第2種)

実施	年度	大学院・大卒	短大・高専卒	高校卒	その他	計
33回	19年	47.7%	14.2%	36.5%	1.6%	100.0%
34回	20年	55.2%	16.7%	26.2%	1.9%	100.0%
35回	21年	57.1%	11.8%	28.8%	2.3%	100.0%

(第3種)

実施	年度	大学院・大卒	短大・高専卒	高校卒	その他	計
33回	19年	40.4%	10.6%	45.3%	3.7%	100.0%
34回	20年	39.3%	10.7%	46.7%	3.3%	100.0%
35回	21年	42.1%	11.4%	42.5%	4.0%	100.0%

5. 性別の合格者数

(第2種)

実施	年度	男性数	女性数
33回	19年	362人	11人
34回	20年	281人	12人
35回	21年	204人	8人

(第3種)

実施	年度	男性数	女性数
33回	19年	1,402人	63人
34回	20年	1,430人	51人
35回	21年	1,386人	43人

6. 最年長者

(第2種)

実施	年度	年齢
33回	19年	67歳
34回	20年	65歳
35回	21年	79歳

(第3種)

実施	年度	年齢
33回	19年	72歳
34回	20年	67歳
35回	21年	69歳

下水道管理技術認定試験(管路施設)合格者の推移 (過去3年) 別紙 3

日本下水道事業団

1. 合格率

実施	年度	合格率
21回	19年	31.8%
22回	20年	39.7%
23回	21年	35.9%

2. 職業別構成比

実施	年度	維持管理業	設計・建設業	その他	計
21回	19年	65.2%	12.1%	22.7%	100.0%
22回	20年	63.6%	14.5%	21.9%	100.0%
23回	21年	59.7%	13.4%	26.9%	100.0%

3. 年代別構成比

実施	年度	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
21回	19年	0.0%	19.2%	41.7%	23.8%	13.9%	1.4%	100.0%
22回	20年	0.0%	17.3%	42.7%	25.4%	13.1%	1.5%	100.0%
23回	21年	0.0%	17.4%	41.3%	27.6%	12.6%	1.1%	100.0%

4. 学歴別構成比

実施	年度	大学院・大卒	短大・高専卒	高校卒	その他	計
21回	19年	39.9%	11.1%	45.0%	4.0%	100.0%
22回	20年	41.1%	9.5%	43.5%	5.9%	100.0%
23回	21年	38.1%	9.6%	47.3%	5.0%	100.0%

5. 性別の合格者数

実施	年度	男性数	女性数
21回	19年	490人	6人
22回	20年	656人	16人
23回	21年	681人	19人

6. 最年長者

実施	年度	年齢
21回	19年	63歳
22回	20年	67歳
23回	21年	69歳



## 第35回下水道技術検定及び第23回下水道管理技術認定試験合格基準一覧

- 1 下水道技術検定（第2種、第3種）、下水道管理技術認定試験（管路施設）において、総合点数が下記表の合格基準点以上の者を合格とする。

記

試験区分		出題方式	出題数	満点	合格基準点
下水道技術検定	第2種	択一式	60問	60	40
	第3種	択一式	60問	60	43
認定試験	管路施設	択一式	50問	50	39

## 下水道技術検定の概要

日本下水道事業団では、毎年1回受験者を公募して全国の主要11都市で下水道技術検定（以下「技術検定」という。）を行っています。

下水道の設計、工事の監督管理及び維持管理については、下水道法及び下水道法施行令により、学歴に応じた一定の下水道実務経験を有する者に行わせなければならず、事業を実施するにはこのような有資格者を確保する必要があります。

技術検定は地方公共団体における有資格者の早期確保などを目的に創設された制度で、合格した場合下水道法第22条の資格取得について必要とされる実務経験年数を短縮する特例が認められます。

技術の内容に応じて「第1種技術検定」、「第2種技術検定」、「第3種技術検定」の三分区があり検定の対象は次のとおりです。

検 定 区 分	検 定 の 対 象
第1種技術検定	下水道の計画設計を行うために必要とされる技術
第2種技術検定	下水道の実施設計及び工事の監督管理を行うために必要とされる技術
第3種技術検定	下水道の維持管理を行うために必要とされる技術